

深川市文化賞受賞者一覧

No.1

年度	受賞者(団体)	功 績 概 要
昭和 37	深川剣道連盟	現代体育の発展、創造、興隆に努め、多くの練達の剣士を生み青少年健全育成に優れた実績を残した。 創立 10 年 会員 100 名
	白 鳥 富 治	弓道の道を修め、練達の技量は万人の称賛するところであり後輩の指導に精進した功績が大である。大日本弓道会師範 6 段、御前競技出場、全国国鉄職員弓道大会優勝
38	鈴 木 繁 一	多年にわたり地方文化の振興に意を用い、特に俳句会の彗星的存在は万人の称賛するところであり、後輩の指導につくした事績が顕著である。20 数年間にわたり自宅で毎月句会を開催。北空知俳句会樹立、深川雪垣吟社設立
39	布 川 源次郎	多年にわたり剣道の振興を通じて武徳の涵養、青少年の善導をはかり、さらに日本詩吟の吟詠指導にあたり、画期的事績をあげた。剣道連盟会長、詩吟学院支部長
	島 トクノ	多年地域文化の振興に意をくだき、特に菊花栽培を通じ、地域住民の融和、親善につくすとともに、農村婦人の趣味教養（茶道・華道・舞踊）の向上に努めた。
40	桑 山 み つ	40 余年の長期に亘り和裁裁縫の普及に優れた技量を発揮し、地域服装文化の発展に貢献した。卒業生約 3,000 人、指導した生徒約 20,000 人
41	島 野 石 斉	日本古来の伝統工芸を極め、高度な技量を多年にわたり研鑽創作し、その作品作風は独特のもので、創造性を具現しようとする多くの美術愛好者の感銘を深めた。
42	日本詩吟学院深川支部	昭和 32 年発足以来、10 年間吟道普及に努力、道場 22 ヶ所会員 600 名を擁する道内 3 番目の支部として発展した。その運営と指導内容（情操教育と人づくり、しつけ教育に重点をおく）は中央においても高く評価され、他の模範的存在となっている。
43～45 該当なし		
46	猩々獅子五段くずし保存会	屯田入植以来、親子 4 代にわたり猩々獅子五段くずしの保存継承に意をくだき、農村文化の発展に寄与した。市無形文化財
	村 上 貞 雄	30 余年の長きにわたり、軟式野球の振興に寄与し、また青少年の健全育成、スケートリンク開設運営につくした。野球連盟理事
	原 田 敏 雄	長年にわたり納内町体育振興会の発展に努力、会長の立場にあって全町内を対象に各種スポーツ大会を実施し、スポーツの振興につくした。
47	本 間 俊 文	本人のスライド、視聴覚教材を利用した各種制作活動と実践は顕著である。地域の児童、中高生を含めたスライド活動は自作の喜びをグループ員に与え、自主創造の精神を貫き地域の青少年の健全育成に多大な貢献をした。
	深川農業高等学校園芸クラブ	創立以来 26 年間積極的に農村の諸問題に取り組み、その追及改善にあたり、また社会奉仕活動にも力を入れている。クラブ活動発表は、全国大会において常に優秀な成績を収めている。43 年北海道青少年科学奨励賞受賞
48	三 上 重 男 (沢 甫)	墨心会（書道塾）を開設、幼児から成人にいたる多数の塾生を指導、各種書道展に自費で参加せしめ入選者が多い。師範免許を受けた塾生 16 名、自費で毎年書道展を 2 回開催、書道文化の振興につくす。書道文化功績賞他多数の受賞あり。書道親善使節として外国を訪問大役を果たす。(欧米、中国 3 回)

年度	受賞者(団体)	功 績 概 要
48	山 道 君 子	日本古来の箏曲に情熱を傾け、30 数年にわたり生田流箏曲師範として子女の情操教育に生涯をかけた。また、数多くの発表会を催し、市民の心に音曲の美しさを伝え、文化の振興に尽くした。子弟約 1,500 名、師範 12 名、準師範 37 名を出している。
49	多度志獅子舞保存会	富山県東礪波郡上平村大字猪谷村に伝わる獅子舞を伝承した赤岩太一郎氏が大正 2 年多度志神社に奉納して以来保存伝承郷土芸能として農村文化の発展に寄与した。
50	伊 藤 明 子	長年にわたり作詩活動に専念、この間「北海道婦人の歌」、深川市民の歌「花をつなぐよ」など数々の優れた作品を発表し、市の文化の向上発展に顕著な事績を残した。
	大 場 久 松	不自由な身体にもかかわらず不屈の精神をもって独学により絵画の制作に励み、独自の画風を築き美術文化の振興発展に貢献した。
51	納内猩々獅子舞保存会	明治 40 年故矢野浅次郎氏が郷里香川県下木田郡奥鹿村に伝わる猩々獅子舞を持ち帰り、以来 70 年余りにわたり代々継承され、地域唯一の郷土芸能として農村文化の発展に寄与した。
	桑 野 作 栄	水田、畑作経営のかたわら、ダリア・しゃくなげ・つつじなど花卉の交配育種・改良に精進。特にダリアでは「音江」「万葉」など世界的水準の新種を作出、園芸作物を通じて文化の向上発展に寄与した。
52	橋 本 房 吉	古典芸能の謡曲に取り組み、サークルを組織し、永年にわたり後輩を指導するなど古典文化の継承に顕著な功績がみられる。
	吉 田 企 美	花をとおして人の和を作ることから花作りに情熱をもち、特にバラの栽培に意をそそぎバラ会を設立。積極的に指導にあたるなど顕著な功績がみられる。
	納内開拓 80 周年 記念誌編纂委員会	納内の先住民族や、屯田兵制度の諸問題を解明するために資料の収集研究がされ、克明に記録された屯田兵村史は、歴史研究、また新しいコミュニティづくりの指針として役立つものとして高く評価でき、その努力に顕著な功績が認められる。
53	佐々木 キク子	茶道の心を深く理解し、温厚な人柄とボランティア精神をもって茶道の概念のみならず、豊かな心と技で指導にあたり、今日もなお活躍されている。よって本市の生活文化向上に大きく貢献した。
54	柴 田 清 富	住民に奉仕する精神をもって、若い頃は役場事務吏員として奉職し、秩父別村長を 2 期つとめあげ、その後昭和 34 年に深川に移り、会社経営のかたわら社会教育関係の公職をはじめ、46 年から文化連盟の会長など深川市の文化活動の先頭に立って活躍し、その功績は誠に大きい。
55～60 該当なし		
61	(文化奨励賞) 深川西高等学校演劇部	特別教育活動の一環である部活動として通年活動を行っており、年間 5～6 回のステージに取り組んでいる。昭和 61 年度全国コンクールにおいて優秀賞を受け、一貫して創作劇を追及する当部の活動精神と地道な練習が実を結び、優れた事績が認められた。全道大会最優秀賞 1 回、優秀賞 2 回、優良賞 3 回受賞
62 該当なし		

年度	受 賞 者 (団体)	功 績 概 要
63	(文化功労賞) 西 野 幸三郎	昭和 16 年から今日に至るまで文学俳句の道に精進し、この間寒椿俳句会・アカシア俳句会・梓俳句会同人として活躍し、寒椿賞・アカシア賞などの各賞を受賞した。また、俳句を通じて地域文化の振興に意を注ぎ、優れた指導力をもって同胞の育成にあたりとともに、地域の中心的人物として生活・文化・教育・産業など農村社会の生活向上に意欲的に取り組み多大な成果を上げた。
平成 元	(文化功労賞) 宮 内 廣 三	昭和 10 年設立「雪垣吟社」同人として活躍し、この間各種団体での俳句指導、また俳句会の設立に尽力した。氏の人生経験、人間性、鋭い感性を通じた作風は、道内はもとより中央において高く評価され、文芸俳句を通じて文化の発展に寄与した。
	(文化功労賞) 北 河 音 吉	これまで短歌・俳句・川柳と幅広い文芸活動で活躍し、この間地域住民の文化活動の普及に尽力した。氏の文芸を愛好する姿勢は全市的にも高く評価され、作品集の発刊配布は地域文化の振興を促し文化の発展に大きな貢献をした。
	(文化奨励賞) 深川西高等学校吹奏楽局	昭和 60 年以来、北海道高等学校文化連盟主催の各種大会において常に優秀な成績を収めるとともに平成元年度北海道吹奏楽コンクール大会高校 C 編成の部において銀賞を受賞するなど日頃の音を追及する意欲的な練習活動が大きな成果を生み、今後の活動が青少年の文化振興に強い影響力をもつなど大きな実績を示した。
2	(文化功労賞) 三 上 万 蔵	昭和 32 年に、詩吟道場深川支部が設立されて以来、常に活動の要として活躍し、会員の育成や地区道場の結成を通じて詩吟の普及拡大に尽力された。また地元はもとより道内においても高く評価されるなど古典文化としての詩吟を通じて深川市の文化の発展に大きな貢献をした。
3	(文化功労賞) 真 保 市 造	昭和 25 年に深川町音楽祭の企画・実施を主宰、その後深川市民合唱団を設立し、市民参加の音楽活動を通じた地域文化の向上に大きく貢献した。また、昭和 35 年に同好者と共に北空知将棋連盟を設立、常に連盟の中心として活躍し、会員や青少年の育成につとめ、北空知はもとより同連盟の役員をつとめるなど全道的に将棋の普及拡大に尽力した。さらに昭和 40 年に設立された深川バラ会に所属しており、園芸を通じた文化の振興にも尽くしている。
	(文化奨励賞) 深川市 3 軌美術協会	昭和 37 年に設立されて以来、3 軌の意味である絵画・彫塑そして工芸の分野で会員自ら創意工夫し、個性豊かな作風を築いており、また公募展を毎年開催する一方、公民館講座の講師として指導するなど地域文化の向上に大きく貢献した。さらに、会員は道展をはじめ、各美術展へも出品しており、全道的・全国的に高い評価を受けている。
4	(文化功労賞) 大 西 登美栄	短歌の道に研鑽を積み、長年短歌を通して文化活動を行い、波紋短歌会の会長をつとめ、会員の和をはかるとともに多くの会員を指導するなど、短歌の普及拡大に尽力した。また、文化連盟の副会長もつとめるなど、全市的な文化活動を通じて地域文化の向上に大きく貢献した。
5	(文化功労賞) 杉 村 修	昭和 30 年代前半から伝統文化囲碁の普及につとめ、日本将院北空知支部の創立に貢献し、昭和 61 年から支部長、平成 5 年には道本部の理事をつとめている。青少年から高齢者や婦人を対象にした各講座、大会を通じてすべての年齢層に囲碁の普及、発展に尽力した。また、文化連盟の常任理事をつとめ、全市的な文化活動を通じて地域文化の向上に大きく貢献した。

深川市文化賞受賞者一覧

No.4

年度	受賞者(団体)	功 績 概 要
6 該当なし		
7	(文化功労賞) 小 田 弘 雅	長年にわたり箏の演奏活動と後進の指導を続けており、特に演奏活動では混声合唱団との合同演奏やスライドを駆使した演奏など、その分野の枠にとらわれない新しいスタイルの演奏を意欲的に展開している。また、福祉施設で慰問演奏会を開くなどボランティア活動にも積極的である。さらには市文化連盟の常任理事もつとめるなど、全市的な文化活動を通じて地域文化向上への功績はまことに大きい。
8	(文化功労賞) 吉 川 弘 隆	屯田兵の入植から始まり、農業を基盤として発展してきた深川市や地域・団体等の史実を後世に伝える重要性を認識し、長年にわたり資料の収集・調査研究に励み、数々の郷土史の編纂につとめた。また、文化財保護委員としても尽力され、深川市の文化行政全般における功績はまことに大きい。
	(文化奨励賞) 拓殖大学北海道短期大学 ミュージカル実行委員会	昭和 59 年、当時の北海道拓殖短期大学保育科に在籍する学生が子ども達の健やかな育成のために企画実施したことに始まり、現在では一般市民も楽しむことができる公演を目指し毎年学生達の手作りミュージカルを開催している。キャストはもちろんのこと衣装、大道具・小道具制作、チケット売りなど全ての作業を学生達が取り組むことにより、独自性豊かな作品を上演し、多くの市民を楽しませている。12 年もの間ミュージカルという形で市の芸術文化の振興に果たした功績はまことに大きい。
9	(文化功労賞) 高 橋 蘇 山	市内の書道の第一人者として道内の各種書道展などにて数多くの受賞歴を持ち、その実力は市内外の多くの人に認められている他、後進の育成にも意を注ぎ、指導者としての事績も大きい。また、深川市文化連盟の常任理事をつとめるなど、全市的な芸術文化向上に果たした功績は大きい。
10	(文化奨励賞) 深川混声合唱団コール・メム	昭和 42 年発足以来、30 年以上にわたり各種大会への参加や定期演奏会の開催など活発な活動を行っているとともに、民謡などとの斬新で独創的スタイルの合唱活動を展開し、多くの市民に感動を与えている。また、東京の合唱団とのジョイントコンサートを双方の地で開催し、音楽を通じての文化交流団としての活躍をされるなど、当市の芸術文化の発展に寄与した功績はまことに大きい。
11 該当なし		
12	(文化功労賞) 深川音楽鑑賞協会 (会長 市川正也)	昭和 40 年の創立以来 35 年にわたり音楽をはじめとする舞台芸術の鑑賞機会を提供しつづけ、多くの市民に感動を与えてきている。近年は他団体・サークルと連携し公演を行うほか、公演活動の支援も積極的に行い、当市の芸術文化の振興発展に寄与した功績はまことに大きい。
	(文化奨励賞) 島 節子	長年にわたり民謡の普及発展に尽力されるとともに第三回江差追分熟年全国大会(平成 11 年 9 月開催)では、見事に優勝を成し遂げたもの。また、人一倍熱心な練習態度と歌に対する姿勢は皆の範となるものであり当市の芸術文化の振興発展に与えた影響はまことに大きい
13	(文化奨励賞) 深川おやこ劇場	1986 年の創立以来、健やかな子どもの成長を願い、優れた児童文化の鑑賞機会を数多く提供し、多くの市民に感動を与えている。 また、青少年による劇団「つくし」を発足させ創作演劇活動を行っていることから、市の幅広い芸術文化の振興発展に与えた功績はまことに大きい。

年度	受賞者(団体)	功 績 概 要
14	(文化功労賞) 渡 辺 貞 之	長年にわたり絵画の創作活動を続け、多くの高位受賞暦をもち、その実力をもって、深川市に限らず広く道内の美術教育や絵画教育の推進に大きな役割を果たしている。 また、演劇の分野においても舞台美術のみならず、市民の創作演劇活動の指導者として熱心な活動を行っていることから、幅広い芸術文化の向上に果たされた功績はまことに大きい。
15・16該当なし		
17	(文化功労賞) 森 田 博	俳句を通じた創作活動で研鑽を積み、深川俳句連盟の結成依頼、活動の要として活躍されるなど、地域の文化活動普及に大きな役割を果たしている。 また、市文化連盟の役員として活動を先導されるなど、文化組織の発展にも寄与されてきた。これらの活動は、市の文化向上に大きく貢献するものであり、果たされた功績はまことに大きい。
18・19該当なし		
20	(文化功労賞) 加 藤 廣 一	これまで、深川混声合唱団コール・メムの団長を23年間にわたり責務を遂行され、団員はもとより深川市民の音楽芸術の発展と、青少年の芸術の育成に貢献された功績は大きく また、平成13年より文化連盟の事務局長、平成15年より深川市舞台芸術交流協会理事長を務められ、深川市の文化・芸術の発展に大きく貢献している。
21	(文化奨励賞) 深川東高等学校 放送局	特別教育活動の一環である部活動として通年活動を行っており、学校行事を支援するとともに、地域話題を取り上げ、NHK杯全国高校放送コンテストに応募してきた。 平成12年よりほぼ毎年全道大会に進出し、平成19年度以降はNHK杯全国高校放送コンテスト全道大会において、優秀賞2回、入賞3回を受け、3年連続全国大会に進出し、昨年度は全国大会制作奨励賞、本年度はテレビドキュメント部門で全国大会優勝するとともに、他のビデオ・映像部門のコンテスト等においても優秀賞を受賞するなど、日頃の努力の積み重ねが実を結び、その実績が全国的に評価されたものである。
22	(文化奨励賞) 瀧 本 豊 壽	北海道民謡連盟公認、唄・三味線の大師範有資格者として各種大会の審査委員長を務め、自らも選手として参加し、平成13年から江差追分全国大会に連続出場し、平成19年4位(参加者196人中)・平成20年5位(参加者185人中)と上位入賞の優秀な成績を挙げている。 さらに、継承文化民謡の伝承者としておごることなくみずからも努力を惜しまず、技術指導ばかりでなく精神的支えとなり周囲の厚い信頼を得ており、また施設慰問にも力を注がれ深川市の文化・芸術の普及振興に大きく寄与している。 参考：平成22年 第48回江差追分全国大会準優勝
23	(文化功労賞) 真 保 響	ボランティア活動として、主に北空知管内において毎年10数回にわたり、病院や高齢者施設・学校・幼稚園・寺院などを訪問し、ピアノコンサートを行い、青少年には室内楽を楽しむ心の教育、高齢の方には、心を和ますコンサートなど、幅広い年齢層を対象として音楽活動を行っている。 さらに、札幌交響楽団各首席奏者と共演しての「室内楽の夕べ」を1992年から毎年開催し、これらの活動は市の文化向上に大きく貢献するものであり、文化・芸術の振興発展に大きく寄与している。

年度	受賞者(団体)	功 績 概 要
24・25・26該当なし		
27	(文化奨励賞) 深川中学校 吹奏楽部	平成27年8月26日開催の第60回北海道吹奏楽コンクールの中学校B編成において、全道各地の地区予選を勝ち抜いた20校が出場する中、金賞を受賞し上位大会(全国大会に相当)である平成27年10月10日開催の第15回東日本学校吹奏楽大会に出場する代表に選ばれた。 参考：平成26年度より2年連続して空知地区吹奏楽コンクールを勝ち上がり、北海道吹奏楽コンクールの出場を果たしている。第15回東日本学校吹奏楽大会では最高位の金賞を受賞。
28・29・30該当なし		
令和元	(文化功労賞) 本 多 宗 孝	長年にわたり熱意をもって茶道の普及振興に努め、カナダ・アボツフォード市から訪問団が来深した際には茶道体験の講師を務めるなど、本市の国際交流行政にも大きく貢献している。 また、茶道以外の芸術分野においても、演劇、箏曲や舞踊も嗜むなど幅広く活躍されており、平成23年度からは深川市文化連盟の常任理事を務めるなど、本市の文化振興・発展に大きく貢献されている。
	(文化奨励賞) 深川東高等学校 農業クラブ	農業及び農業関連産業のスペシャリストの育成に向けた農産物の生産・加工、流通に関する知識と技術の習得を目指す幅広い教育のもと、特に近年は、日本学校農業クラブ全国大会には3年連続で出場を果たすなど、教育分野における本市の文化振興に大きく寄与する実績を有している。 また、市内小学生を対象に青空園芸教室を実施し、市内を花で彩る花彩通装飾事業、フラワーロード事業への協力を続けるなど、専門分野で学んだ知識を活かして地域に貢献する取り組みを続けている。
	(文化奨励賞) 深川中学校 吹奏楽部	平成26年度から本年度に至るまで、空知地区代表として北海道吹奏楽コンクールに出場。平成27年度には、同コンクールで金賞を受賞し、北海道代表として出場した東日本吹奏楽大会で最高位の金賞を受賞したこと等により本市の文化奨励賞を受賞している。 本年度は北海道吹奏楽コンクールでの銀賞受賞に加え、第25回日本管楽合奏コンテスト本選に北海道からの代表として出場を果たしており、優秀賞ならびに特別賞(フォトライフ賞)を受賞したことから、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術分野において今後の活躍が期待できる。
令和2	(文化奨励賞) 深川中学校 吹奏楽部	昨年度に続き、第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場し、最優秀賞を受賞したことから、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術分野において今後の活躍が期待できるもの。
令和3	(文化奨励賞) 深川中学校 吹奏楽部	一昨年、昨年度に続き、第27回日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場し、最優秀賞を受賞したことから、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術分野において今後の活躍が期待できるもの。
令和4	(文化奨励賞) 深川中学校 吹奏楽部	4年連続の出場となる、第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会において、最優秀賞および審査員特別賞を受賞したことから、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術・教育分野において今後の活躍が期待できるもの。
	(文化奨励賞) 藤原 琢斗	令和4年度 日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会 農業鑑定競技会 農業部門の北北海道連盟における最優秀賞を受賞されたことから、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術・教育分野において今後の活躍が期待できるもの。
令和5	(文化奨励賞) 深川中学校 吹奏楽部	5年連続の出場となる、第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会において、優秀賞を受賞したことから、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術・教育分野において今後の活躍が期待できるもの。

深川市文化賞受賞者一覧

No.7

年度	受賞者(団体)	功 績 概 要
令和 6	(文化功労賞) 菊 入 三 恵	長年にわたり、市内及び近郊において様々な声楽コンサートへ出演しているほか、自らが主催するコンサートでは、話題曲を取り入れた親しみやすいプログラム構成や、異なる分野の音楽家と共演し魅力的な公演を展開するなど、深川市の文化・芸術の発展に大きく貢献された。 また、市内での舞台公演やサークル活動などでの声楽指導のほか、深川東高等学校等の音楽講師を務めるなど、後進の育成にも大きく貢献された。
	(文化功労賞) 手 島 トモ子	教職員時代から美術指導技術の向上に励み、退職後の平成14年には地域で絵画教室を開き、油絵等の魅力を伝えているほか、平成18年には私費で画廊「さんぽ道」を開設され、絵画のみならず写真や書道、手芸などの作品展示場として無料提供するなど、地域の美術活動・文化向上に大きく貢献された。
	(文化奨励賞) 河 合 美 詩	第12回ヤングクラリネティストコンクールジュニアB部門において、第1位という成績を収められ、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術・教育分野において今後の活躍が期待できるもの。
	(文化奨励賞) 深川中学校 吹奏楽部	6年連続の出場となる、第30回日本管楽合奏コンテスト全国大会において、優秀賞および特別賞(ヤマハ賞)を受賞したことから、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術・教育分野において今後の活躍が期待できるもの。
	(文化奨励賞) 深川西高等学校 吹奏楽局	第30回日本管楽合奏コンテスト全国大会において、優秀賞および特別賞(フォトライフ賞)を受賞したことから、本市の文化振興に寄与する実績を有しているとともに、芸術・教育分野において今後の活躍が期待できるもの。